

2019年11月8日

 上場会社名 明治ホールディングス株式会社
 コード番号 2269 URL <https://www.meiji.com>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 川村 和夫

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員 IR広報部長 (氏名) 古田 純

TEL 03-3273-3917

四半期報告書提出予定日 2019年11月12日

配当支払開始予定日

2019年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績(2019年4月1日～2019年9月30日)
(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	618,077	1.0	47,573	8.5	48,733	11.1	31,862	16.8
2019年3月期第2四半期	611,971	0.1	43,840	2.9	43,873	4.9	38,316	21.9

(注) 包括利益 2020年3月期第2四半期 30,555百万円 (30.3%) 2019年3月期第2四半期 43,865百万円 (19.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	219.68	
2019年3月期第2四半期	264.23	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年3月期第2四半期	1,001,241	579,609	54.5	3,764.35
2019年3月期	1,004,143	560,630	52.5	3,635.79

(参考) 自己資本 2020年3月期第2四半期 546,103百万円 2019年3月期 527,310百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期		65.00		75.00	140.00
2020年3月期		70.00			
2020年3月期(予想)				70.00	140.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2020年3月期の連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1,309,000	4.4	108,000	9.8	109,000	9.3	67,500	9.1	465.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1 社 (社名) 明治乳業(天津)有限公司、除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

詳細は、[添付資料]14ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2020年3月期2Q	152,683,400 株	2019年3月期	152,683,400 株
期末自己株式数	2020年3月期2Q	7,611,254 株	2019年3月期	7,650,137 株
期中平均株式数(四半期累計)	2020年3月期2Q	145,045,686 株	2019年3月期2Q	145,012,822 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、[添付資料]7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算短信補足説明資料の入手方法について)

決算短信補足説明資料は決算短信に添付しTDnetで開示しております。また、当社ホームページにも同日掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	6
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	7
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	10
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	11
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	14
(継続企業の前提に関する注記)	14
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	14
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	14
(会計方針の変更)	14
(セグメント情報等)	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは「2020中期経営計画」の2年目を迎え、基本コンセプト「継続的戦略課題への取り組み」と「成長に向けた新たな挑戦」に基づき、「コア事業での高シェア・高収益の実現」「海外市場での成長基盤の確立に向けた積極的な事業拡大」「健康を軸とした新たな価値領域での仕掛け」「構造改革の継続的な実行と個別事業課題の克服」「経営基盤の進化とサステナビリティの推進」に向けた取り組みを進めております。

2020年3月期は、食品セグメントでは個人消費動向が不安視され、医薬品セグメントでは2019年10月に続き2020年4月にも薬価改定の実施が予定されるなど厳しい環境下ではありますが、両セグメントともにコア領域・成長領域に経営資源を重点的に投下することで着実に計画を推進しています。

当第2四半期連結累計期間の売上高は6,180億77百万円(前年同期比1.0%増)、営業利益は475億73百万円(同8.5%増)、経常利益は487億33百万円(同11.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は318億62百万円(同16.8%減)となりました。

(単位:億円)

	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減額	主な増減要因
売上高	6,119	6,180	61	詳細はセグメント別の概況に記載
営業利益	438	475	37	詳細はセグメント別の概況に記載
営業外収益	14	31	16	受取保険金+12
営業外費用	14	19	4	持分法による投資損失+2
経常利益	438	487	48	—
特別利益	133	11	△121	負ののれん発生益△65、 固定資産売却益△58
特別損失	41	26	△14	災害による損失△10、減損損失△2
税金等調整前 四半期純利益	531	472	△58	—
法人税等	144	146	1	—
非支配株主に帰属する 四半期純利益	3	7	4	—
親会社株主に帰属する 四半期純利益	383	318	△64	—

セグメント別の概況は次のとおりです。

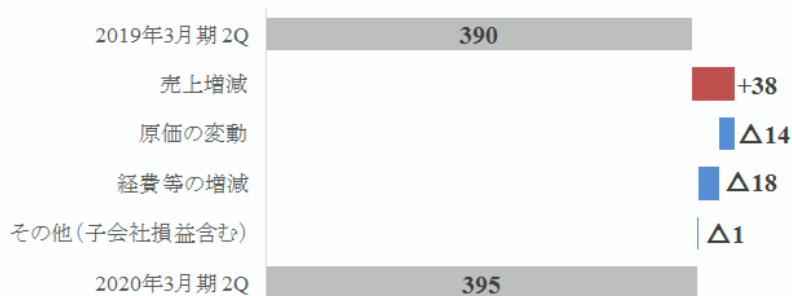
①食品セグメント

- ・売上高は前年同期並みとなりました。菓子事業、栄養事業、海外事業は前年同期を上回りましたが、加工食品事業が前年同期並みとなり、発酵 Dairy 事業はプロバイオティクスやヨーグルトの減収により前年同期を下回りました。
- ・営業利益はチョコレートや乳幼児ミルクの増収のほか、価格改定の影響により前年同期を上回りました。

(単位:億円)

		2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減率
食 品	売 上 高	5,248	5,232	△0.3%
	営業利益	390	395	1.4%

営業利益増減分析 (単位:億円)



※「売上増減」には品種構成の変化を含みます。

事業別の概況は次のとおりです。

(単位:億円)

売 上 高				営 業 利 益			
	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減率		2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減率
発 酵 デ ィ リ ー	1,655	1,624	△1.9%	発 酵 デ ィ リ ー	224	207	△7.4%
加 工 食 品	914	914	0.1%	加 工 食 品	43	48	11.2%
菓 子	504	523	3.9%	菓 子	62	68	9.4%
栄 養	445	469	5.2%	栄 養	72	88	21.6%
海 外	217	232	6.9%	海 外	5	8	62.1%
その他 国内子会社	1,511	1,467	△2.9%	その他 国内子会社	23	20	△11.7%
				全社共通費	△41	△46	—

【発酵デイリー事業】 (ヨーグルト、牛乳類、飲料等)

- ・売上高は、「ザバスミルクプロテイン」シリーズがラインアップの強化により大幅に伸長しましたが、ヨーグルトやプロバイオティクスが減収となった結果、前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、減収の影響や原材料調達コストの増加により前年同期を下回りました。

【加工食品事業】 (チーズ、バター・マーガリン、クリーム、アイスクリーム、冷凍食品等)

- ・売上高は、アイスクリームが天候不順の影響を受け減収となりましたが、「明治北海道十勝チーズ」シリーズが好調に推移したことから、全体では前年同期並みとなりました。
- ・営業利益は、2019年3月から実施したアイスクリームの価格改定の影響などにより前年同期を大幅に上回りました。

【菓子事業】 (チョコレート、グミ、ガム等)

- ・売上高は、「チョコレート効果」や「きのこの山・たけのこの里」シリーズが好調に推移したことにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、物流費などが増加した一方で、「チョコレート効果」等の増収により前年同期を上回りました。

【栄養事業】 (スポーツ栄養、乳幼児ミルク、流動食、美容、OTC等)

- ・売上高は、乳幼児ミルクがインバウンド需要の影響を受けて好調に推移したほか、スポーツプロテイン「ザバス」シリーズや流動食「明治メイバランス」シリーズの増収などにより前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、主要製品の増収により前年同期を大幅に上回りました。

【海外事業】 (海外子会社、輸出)

- ・売上高は、中国子会社が伸長したことから前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、中国子会社の増収により前年同期を大幅に上回りました。

【その他国内子会社】 (飼料、畜産品、砂糖および糖化穀粉、運送等)

- ・売上高は、畜産品子会社や物流子会社等の減収により前年同期を下回りました。
- ・営業利益は、畜産品子会社や物流子会社等の減収の影響により前年同期を大幅に下回りました。

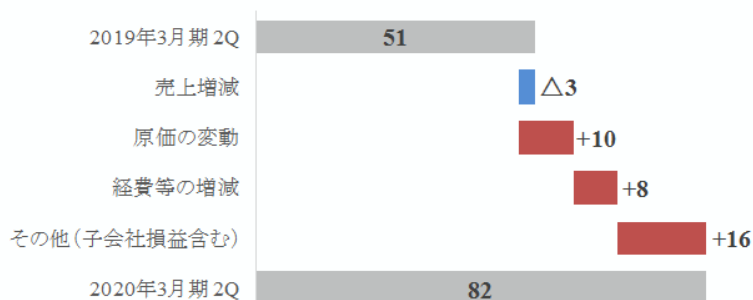
②医薬品セグメント

- ・売上高は、前年度第2四半期から連結したKMバイオロジクスの第1四半期実績が計上されたことに加え、インフルエンザワクチンの増収や海外子会社の増収により前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、海外子会社の増収に加えて経費の減少や原価低減の取り組みなどが寄与し、前年同期を大幅に上回りました。

(単位：億円)

		2019年3月期 第2半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減率
医薬品	売上高	876	953	8.9%
	営業利益	51	82	60.8%

営業利益増減分析 (単位：億円)



※「売上増減」には品種構成の変化を含みます。

事業別の概況は次のとおりです。

(単位：億円)

売上高				営業利益			
	2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減率		2019年3月期 第2四半期累計	2020年3月期 第2四半期累計	対前年同期 増減率
国内	582	657	12.7%	国内	41	53	28.8%
海外	206	222	7.6%	海外	7	20	170.4%
KMバイオロジクス	99	168	69.2%	KMバイオロジクス	16	8	△50.8%
消去	△13	△94	—	修正・消去	△14	△0	—

【国内事業】

- ・売上高は、抗うつ薬「リフレックス」が特許切れの影響で大幅な減収となったものの、インフルエンザワクチンや抗菌薬「タゾピペ静注用明治」が大幅に伸長したことから、前年同期を大幅に上回りました。
- ・営業利益は、経費の減少や原価低減の取り組みにより前年同期を大幅に上回りました。

【海外事業】

- ・売上高は、インド子会社が好調に推移し前年同期を上回りました。
- ・営業利益は、インド子会社の増収やインド子会社ののれん償却費の減少により前年同期を大幅に上回りました。

【KMバイオロジクス】

- ・売上高は、主力のインフルエンザワクチンが大幅に伸長したことに加え、血漿分画製剤も好調に推移したことにより、前年同期を大幅に上回りました。なお、前年度第2四半期より連結子会社となったことから、当期の第1四半期実績は純増となりました。
- ・営業利益は、当期から新たに取込んだ第1四半期において営業損失を計上したことから、前年同期を大幅に下回りました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(単位：億円)

	2019年3月期	2020年3月期 第2四半期累計	対前期末	
			増減額	主な増減要因
流動資産	4,214	4,101	△113	受取手形及び売掛金△111、 現金及び預金△23、商品及び製品+74
固定資産	5,826	5,911	84	建設仮勘定+63、 建物及び構築物(純額)+47、 投資有価証券△24、繰延税金資産△10
資産合計	10,041	10,012	△29	—
流動負債	2,915	2,743	△171	支払手形及び買掛金△189、 未払法人税等△58、未払費用△26、 短期借入金+102
固定負債	1,520	1,473	△47	長期借入金△44
負債合計	4,435	4,216	△218	—
株主資本	5,075	5,283	207	利益剰余金+204
その他の包括利益 累計額	197	177	△19	為替換算調整勘定△17
非支配株主持分	333	335	1	—
純資産合計	5,606	5,796	189	—
負債純資産合計	10,041	10,012	△29	—
有利子負債	1,163	1,281	117	短期借入金+102、 コマーシャル・ペーパー+60、 長期借入金△44
自己資本比率	52.5%	54.5%	2.0pt	—

②キャッシュ・フローの状況

(単位：億円)

	2019年 3月期 第2四半期 累計	2020年 3月期 第2四半期 累計	対前年 同期 増減額	主な増減要因
営業活動による キャッシュ・フロー	383	340	△43	仕入債務の減少△141、税金等調整前四半期純利益の減少△58、たな卸資産の増加△43、のれん償却額△8、売上債権の減少+126、負ののれん発生益+65、減価償却費+17
投資活動による キャッシュ・フロー	△602	△363	239	連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出+338、有形及び無形固定資産の売却による収入△76、有形固定資産の取得による支出△41
財務活動による キャッシュ・フロー	166	7	△158	長期借入れによる収入△177、非支配株主からの払込みによる収入△102、コマーシャル・ペーパーの減少△50、長期借入金の返済による支出+91、短期借入金の増加+84
現金及び現金同等物 の四半期末残高	214	225	11	—
フリー・ キャッシュ・フロー	△218	△23	195	—

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月13日の「2019年3月期決算短信」で公表いたしました2020年3月期の連結業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	25,356	23,056
受取手形及び売掛金	202,193	191,040
商品及び製品	105,757	113,193
仕掛品	4,578	4,052
原材料及び貯蔵品	55,589	55,144
その他	28,149	23,804
貸倒引当金	△176	△163
流動資産合計	421,447	410,128
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	334,729	341,065
減価償却累計額	△169,035	△170,646
建物及び構築物(純額)	165,693	170,419
機械装置及び運搬具	533,595	538,525
減価償却累計額	△381,789	△386,300
機械装置及び運搬具(純額)	151,806	152,225
工具、器具及び備品	54,826	55,819
減価償却累計額	△42,237	△42,508
工具、器具及び備品(純額)	12,589	13,310
土地	70,765	70,076
リース資産	2,891	2,849
減価償却累計額	△2,243	△2,222
リース資産(純額)	648	627
建設仮勘定	31,988	38,351
有形固定資産合計	433,491	445,009
無形固定資産		
のれん	73	65
その他	13,480	13,282
無形固定資産合計	13,553	13,347
投資その他の資産		
投資有価証券	93,504	91,028
退職給付に係る資産	20,274	20,991
繰延税金資産	14,409	13,400
その他	7,557	7,427
貸倒引当金	△94	△91
投資その他の資産合計	135,651	132,755
固定資産合計	582,696	591,112
資産合計	1,004,143	1,001,241

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	125,479	106,520
短期借入金	33,597	43,829
コマーシャル・ペーパー	-	6,000
未払費用	46,286	43,642
未払法人税等	21,023	15,156
賞与引当金	11,895	11,007
返品調整引当金	757	917
売上割戻引当金	2,443	2,144
その他	50,021	45,110
流動負債合計	291,504	274,329
固定負債		
社債	20,000	20,000
長期借入金	62,788	58,325
繰延税金負債	10,650	9,432
退職給付に係る負債	53,830	54,398
役員退職慰労引当金	106	116
その他	4,632	5,029
固定負債合計	152,008	147,301
負債合計	443,512	421,631
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,000	30,000
資本剰余金	100,061	100,206
利益剰余金	407,943	428,428
自己株式	△30,422	△30,271
株主資本合計	507,582	528,363
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	33,261	31,960
繰延ヘッジ損益	3	9
為替換算調整勘定	△1,751	△3,485
退職給付に係る調整累計額	△11,785	△10,744
その他の包括利益累計額合計	19,728	17,739
非支配株主持分	33,320	33,506
純資産合計	560,630	579,609
負債純資産合計	1,004,143	1,001,241

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
売上高	611,971	618,077
売上原価	393,706	394,231
売上総利益	218,265	223,846
販売費及び一般管理費	174,425	176,273
営業利益	43,840	47,573
営業外収益		
受取利息	64	118
受取配当金	698	731
受取保険金	-	1,219
その他	725	1,044
営業外収益合計	1,488	3,112
営業外費用		
支払利息	359	384
持分法による投資損失	74	299
為替差損	567	398
その他	454	869
営業外費用合計	1,455	1,952
経常利益	43,873	48,733
特別利益		
固定資産売却益	6,451	573
負ののれん発生益	6,584	-
投資有価証券売却益	94	591
その他	204	-
特別利益合計	13,335	1,165
特別損失		
固定資産廃棄損	1,094	1,391
減損損失	1,007	756
災害による損失	1,021	-
その他	980	546
特別損失合計	4,103	2,693
税金等調整前四半期純利益	53,105	47,205
法人税等	14,477	14,630
四半期純利益	38,627	32,574
非支配株主に帰属する四半期純利益	311	711
親会社株主に帰属する四半期純利益	38,316	31,862

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期純利益	38,627	32,574
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	5,789	△1,307
繰延ヘッジ損益	83	6
為替換算調整勘定	△1,147	△1,502
退職給付に係る調整額	1,060	1,024
持分法適用会社に対する持分相当額	△548	△239
その他の包括利益合計	5,237	△2,019
四半期包括利益	43,865	30,555
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	43,633	29,874
非支配株主に係る四半期包括利益	231	681

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	53,105	47,205
減価償却費	20,652	22,401
減損損失	1,007	756
のれん償却額	813	7
負ののれん発生益	△6,584	-
有形固定資産除却損	1,087	1,392
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△16	△14
賞与引当金の増減額(△は減少)	△391	△886
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	1,746	1,293
受取利息及び受取配当金	△763	△849
受取保険金	-	△1,219
支払利息	359	384
持分法による投資損益(△は益)	74	299
有形固定資産売却損益(△は益)	△6,225	△565
投資有価証券売却損益(△は益)	△94	△591
売上債権の増減額(△は増加)	△1,998	10,648
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,429	△6,732
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,654	△17,788
その他	△3,414	△5,728
小計	53,275	50,013
利息及び配当金の受取額	774	1,242
保険金の受取額	-	1,432
利息の支払額	△346	△371
法人税等の支払額	△15,355	△18,309
営業活動によるキャッシュ・フロー	38,347	34,007
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△32,661	△36,843
無形固定資産の取得による支出	△1,646	△1,944
有形及び無形固定資産の売却による収入	9,553	1,884
投資有価証券の取得による支出	△81	△70
投資有価証券の売却による収入	190	592
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△33,879	-
その他	△1,705	67
投資活動によるキャッシュ・フロー	△60,228	△36,314

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△347	8,060
コマーシャル・ペーパーの増減額 (△は減少)	11,000	6,000
長期借入れによる収入	18,070	358
長期借入金の返済による支出	△11,619	△2,505
自己株式の増減額 (△は増加)	288	292
配当金の支払額	△10,483	△10,853
非支配株主への配当金の支払額	△96	△154
非支配株主からの払込みによる収入	10,200	-
その他	△400	△410
財務活動によるキャッシュ・フロー	16,610	787
現金及び現金同等物に係る換算差額	△263	△364
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,534	△1,883
現金及び現金同等物の期首残高	26,913	24,481
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	43	-
現金及び現金同等物の四半期末残高	21,422	22,598

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(会計方針の変更)

第1四半期連結会計期間より、一部の在外連結子会社においてIFRS第16号「リース」を適用しております。当該会計基準の適用が四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自2018年4月1日 至2018年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	524,617	87,354	611,971	-	611,971
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	211	246	458	△458	-
計	524,829	87,600	612,430	△458	611,971
セグメント利益	39,005	5,115	44,120	△280	43,840

(注) 1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△280百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△287百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

当第2四半期連結累計期間において、KMバイオロジクス株式会社の株式の一部を取得し、連結範囲に含めた事により、「医薬品」のセグメントにおいて負ののれん発生益を6,584百万円計上しております。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日 至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
	食品	医薬品			
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	522,971	95,106	618,077	-	618,077
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	251	283	534	△534	-
計	523,222	95,390	618,612	△534	618,077
セグメント利益	39,548	8,227	47,775	△202	47,573

(注)1. 調整額は以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△202百万円には、セグメント間取引消去6百万円、各報告セグメントに
に配分していない全社費用△208百万円が含まれております。全社費用は当社(持株会社)運営に係
る費用等であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

固定資産に係る重要な減損損失はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

のれんの金額の重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な負ののれん発生益はありません。